

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年4月8日(2021.4.8)

【公開番号】特開2019-84210(P2019-84210A)

【公開日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2019-021

【出願番号】特願2017-216398(P2017-216398)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月5日(2021.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

表示手段と、

第1状態および第2状態を含む複数種類の状態のうちの一の状態に制御する状態制御手段と、

演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記第1状態において、該第1状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数である第1残り回数が当該第1状態にかかる所定回数よりも少なくなったときに、前記表示手段に特定表示を行わせることにより該第1残り回数を示唆する第1制御を行う第1制御手段と、

前記第2状態において、該第2状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数である第2残り回数が当該第2状態にかかる所定回数よりも少なくなったときに、前記表示手段に前記特定表示を行わせることなく該第2残り回数を示唆する第2制御を行う第2制御手段と、

前記第1状態および前記第2状態において、遊技結果を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出手段と、を含み、

前記示唆演出手段が前記示唆演出を実行する確率は、前記第1状態に制御されているときの方が、前記第2状態に制御されているときよりも低く、

前記特定表示が行われるときに、特定音を出力可能である、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(A) 遊技を行うことが可能な遊技機であって、

表示手段と、

第1状態および第2状態を含む複数種類の状態のうちの一の状態に制御する状態制御手段と、

段と、

演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記第1状態において、該第1状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数である第1残り回数が当該第1状態にかかる所定回数よりも少なくなったときに、前記表示手段に特定表示を行わせることにより該第1残り回数を示唆する第1制御を行う第1制御手段と、

前記第2状態において、該第2状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数である第2残り回数が当該第2状態にかかる所定回数よりも少なくなったときに、前記表示手段に前記特定表示を行わせることなく該第2残り回数を示唆する第2制御を行う第2制御手段と、

前記第1状態および前記第2状態において、遊技結果を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出手段と、を含み、

前記示唆演出手段が前記示唆演出を実行する確率は、前記第1状態に制御されているときの方が、前記第2状態に制御されているときよりも低く、

前記特定表示が行われるときに、特定音を出力可能である。

遊技機は、以下のように構成されてもよい。

(1) 遊技を行うことが可能な遊技機(たとえば、遊技機1)であって、

第1状態(たとえば、第1特定状態)および第2状態(たとえば、第2特定状態)を含む複数種類の状態のうちの一の状態に制御する状態制御手段(たとえば、メイン制御部41)と、

前記第1状態において、該第1状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数が所定回数よりも少なくなったときに、該残り回数を示唆する第1制御を行う第1制御手段(たとえば、第1特定制御を行うサブ制御部91)と、

前記第2状態において、該第2状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数が所定回数よりも少なくなったときに、前記第1制御とは異なる第2制御を行う第2制御手段(たとえば、第2特定制御を行うサブ制御部91)とを備える。